

くらしと照明

これからのあかりは、明るさをアップさせて効率良く省エネであり、資源を節約する事が大切となります。また、人にやさしく健やかな生活環境を提案していかなくてはなりません。空気の浄化や脱臭、商品の防汚や抗菌等の人々の衛生や健康に対する意識は、近年高くなっています。子供から高齢者まで、ご家族全員が快適で健やかに暮らせるようにしたいものです。

リビング・応接間

欧米流の考え方を取り入れ、LDKを一体化する間取りが主流になりつつあります。そしてエンジニアリングウッド等の高性能住宅部材の開発と複数の工法を組み合わせた建築技術の進歩により壁や柱の少ない大空間のリビングが増えています。こうした住まいの変化に伴って、照明のスタイルも大きく変わってきています。広い空間の良さを活かすための薄型の器具、明るさをとるために増えてしまいがちな熱の発生やエネルギー消費を抑えた器具、多目的な空間をドラマチックに演出できる器具など新しい考え方の照明が登場してきています。これらの商品をベースに、多目的な空間を幅広く演出しましょう。

和風空間

現代の和風建築の基礎は室町時代に起こった書院造りで、床棚、書院などが設けられた様式です。また、茶室から発展した数奇屋造りも現代に受け継がれています。余計な装飾を排除した数奇屋造りは簡素な空間の中に、自然の風合いを活かした丸太や木皮と土壁を組み合わせた奥深い様式です。照明も和ならではの木材や和紙を使ったものを選ぶと空間の雰囲気と調和するでしょう。巧みな彫りや細工、杉や檜など素材も吟味しながら、イメージに合った器具を選びましょう。

寝室

寝室は一日の疲れを癒し、安らかに眠る場であるとともにプライベートな時を過ごすためには心からくつろげる空間であることが求められます。そのため、あかりは何より落ち着きと居心地の良さを感じさせる光を選びたいものです。また読書を楽しむ、身だしなみを整える、といったシーンに対応できるように、照明をプランニングすることも大切です。さらに、寝室での過ごし方にあわせて調光機能で明るさを変えたりフットライトで安全性を高めることで、寝室の快適性はさらに高まります。

くらしと照明

ダイニングルーム

ダイニングは食事を楽しむ空間であると同時に、家族の会話の場。さらにはお客様をおもてなしするスペースでもあります。大勢で過ごす時には明るく華やかな雰囲気、リラックスして食事を楽みたい時にはあかりを絞ってと、シーンに応じた調節ができると便利です。またキッチンとつながったDK型、リビングも含めたLDK型と、構成によって人の動きは変化します。照明は各スペースに必要な明るさを確保しつつ、全体として調和が取れるように設置しましょう。

キッチン

キッチンは細かい手作業の多い空間だけに、照明の担う役割は重要です。何よりも作業のしやすさを第一に考え十分な明るさを確保しましょう。器具を選ぶ際には、キッチンに多い細長い空間を均等に照らせるか、収納棚の開閉を妨げることはないかなど、構造に応じた確認をしてください。さらに包丁や火を使用する場所なので安全面の配慮も欠かせません。適切な器具を効率的な位置に取り付けて、キッチンの使いやすさを高めましょう。

廊下・通路

夜中に暗闇でつまずいて骨折するなど、思わぬことから発生する家庭内事故は、意外に多いものです。このような不慮の事故からご家族一人一人を守るため暮らしの中であかりの果たす役割は重要です。地震や停電を感知して点灯する保安灯やフットライト、ダウンライトなど、まさかの時のあかりにも心掛けておくことも大切です。

バスルーム・洗面室・トイレ

一日の疲れをとる、リラックススペースであるバスルームは清潔感と明るさを大切にします。影ができずに光が広がるような位置に器具を設置すると効果的です。また清潔感や明るさと共に大事にしたいのが安全性。湿気の多い場所なので、防湿タイプの照明器具をお選びください。滑りやすいスペースなので、メンテナンスのしやすさも重要なポイントです。

アウトドア

アウトドアライトは、安全に人を導くとともに、街とつながる大事なあかりでもあります。個性を演出しつつも、街の景観を乱さないような配慮は欠かせません。また、防犯面でも非常に重要な照明です。全体が明るくなっていることにより、不審者の侵入を妨げたり、逆に人が近づくことによって点灯して訪問を知らせたり。門柱灯、アウトドアブラケットライト、アプローチライトなど耐久性の高いアウトドア専用の器具で計画してください。